

岩船沖洋上風力発電

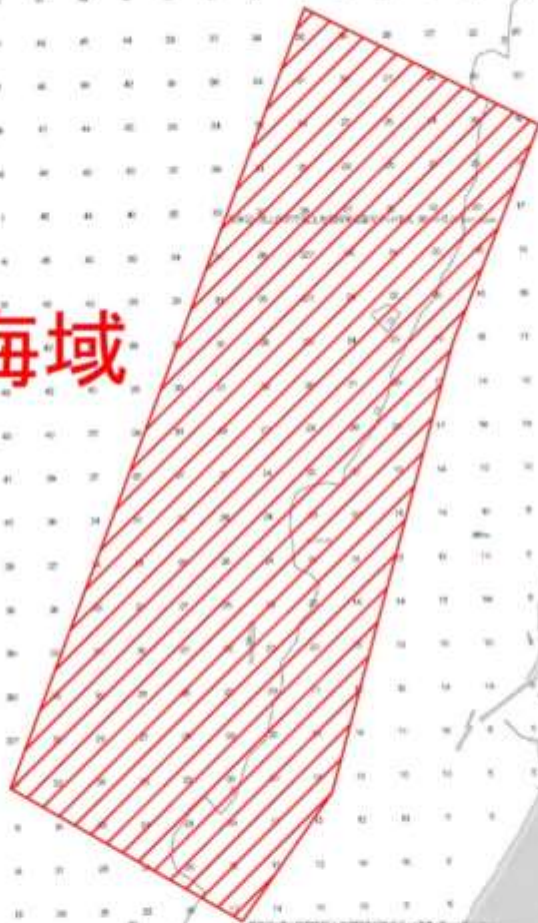


■ 洋上風力発電とは



■岩船沖洋上風力発電の概要

対象海域



三面川

岩船港

荒川

■これまでの経過

①研究会の設置



■これまでの経過

②講演会



■これまでの経過

③課外授業



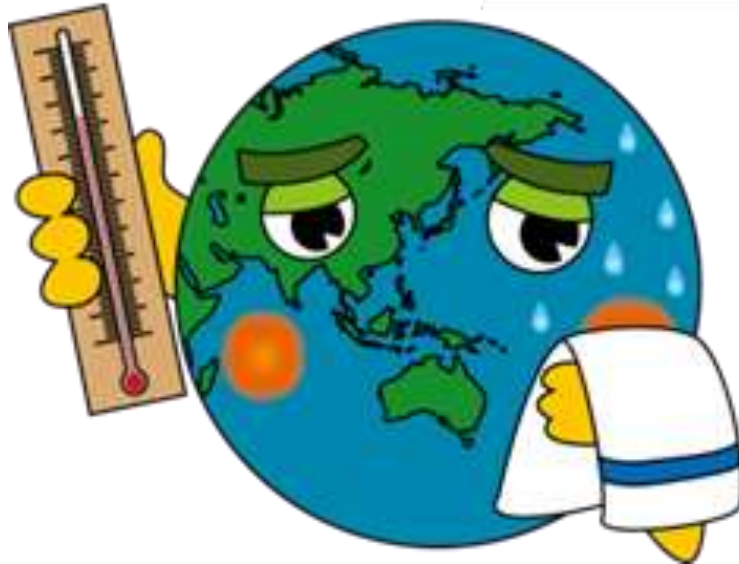
■これまでの経過

④推進委員会を設立

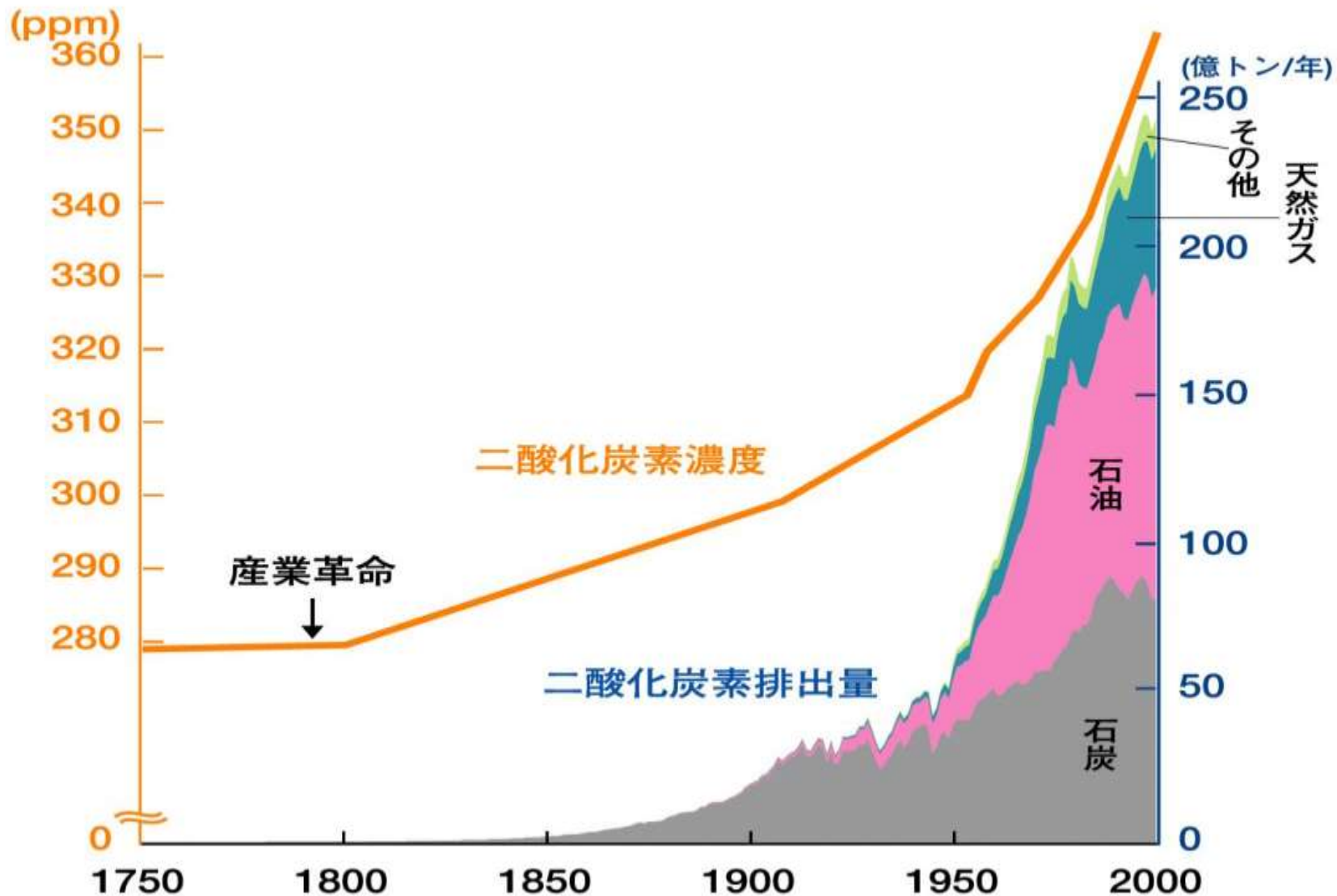


■期待されること

①地球温暖化対策に有効



◆温室効果ガス(CO₂)の濃度と量の推移



出所) オークリッジ国立研究所

身近に迫る地球温暖化



ブナ林が大きく
減少する。



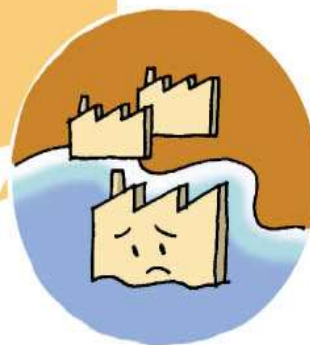
南方で生息する昆虫等が
北に移動する。



豪雨が増加する。
台風の雨量も増える。



真夏日が大幅に増える。
熱波により、熱中症患者が増加し、
マラリアが発生する可能性が高まる。



- ・ 人口や産業が集中する
湾岸域が被害を受ける。
- ・ 1mの海面上昇で約90%の
砂浜が消失する。

頻発する極端な気象現象

— 最近起こった主な自然災害 —

熱波

●ヨーロッパ 2007年4～8月

ヨーロッパの広範囲で異常な高温となった。南東部では6～7月の熱波によって300人以上の死亡者が報告された。



干ばつ

●中国 2007年9～11月

11月に中国全土で121万ヘクタールの農作物が干ばつの影響を受けたと報告された。江西省のカンチョウでは、9～11月の3カ月間の降水量が平年比で約1割であった。



森林火災

●アラスカ 2004年6～9月

アラスカでは過去最悪の森林火災となり、6月以降、約250万ヘクタールが焼失。



ハリケーン

●アメリカ 2005年8月

8月下旬にフロリダ半島にハリケーン「カトリーナ」が上陸。その後、一旦メキシコ湾に抜けたが、ルイジアナ州に再上陸。このときの中心気圧は920ヘクトパスカルで、ルイジアナ州を中心に大きな被害をもたらした。

サイクロン

●ミャンマー 2008年4～5月

4月末にミャンマーにサイクロン「ナルギス」が上陸。暴風や高波によって、7万人以上の死亡者、5万人以上の行方不明者が報告された(2008年6月現在)。



大雨

●ブラジル 2003年12月～2004年2月

12月末から大雨による洪水や土砂崩れが各地で発生し、2月中旬までに160人以上が死亡、約23万人が避難。



干ばつ

●エチオピア・アフリカ南部 2004年～2月

エチオピアでは干ばつのため700万人以上が食糧不足。また、モザンビーク、ジンバブエなどでは数百万人、南アフリカ共和国では1,500万人が食糧不足と伝えられた。



サイクロン

●バングラデシュ 2007年11月

11月中旬にサイクロン「シドル」が発生し、バングラデシュに上陸。バングラデシュでは、死亡者が3,000人以上、被災者は870万人以上と報告された。

被害額は近年、急増している

(百万米ドル)
70,000
60,000

10年間毎の被害額の比較(十億米ドル、1999年値)

1950-59	1960-69	1970-79	1980-89	1990-99
100	150	250	450	700

此表
90年代
90年代
90年代
90年代

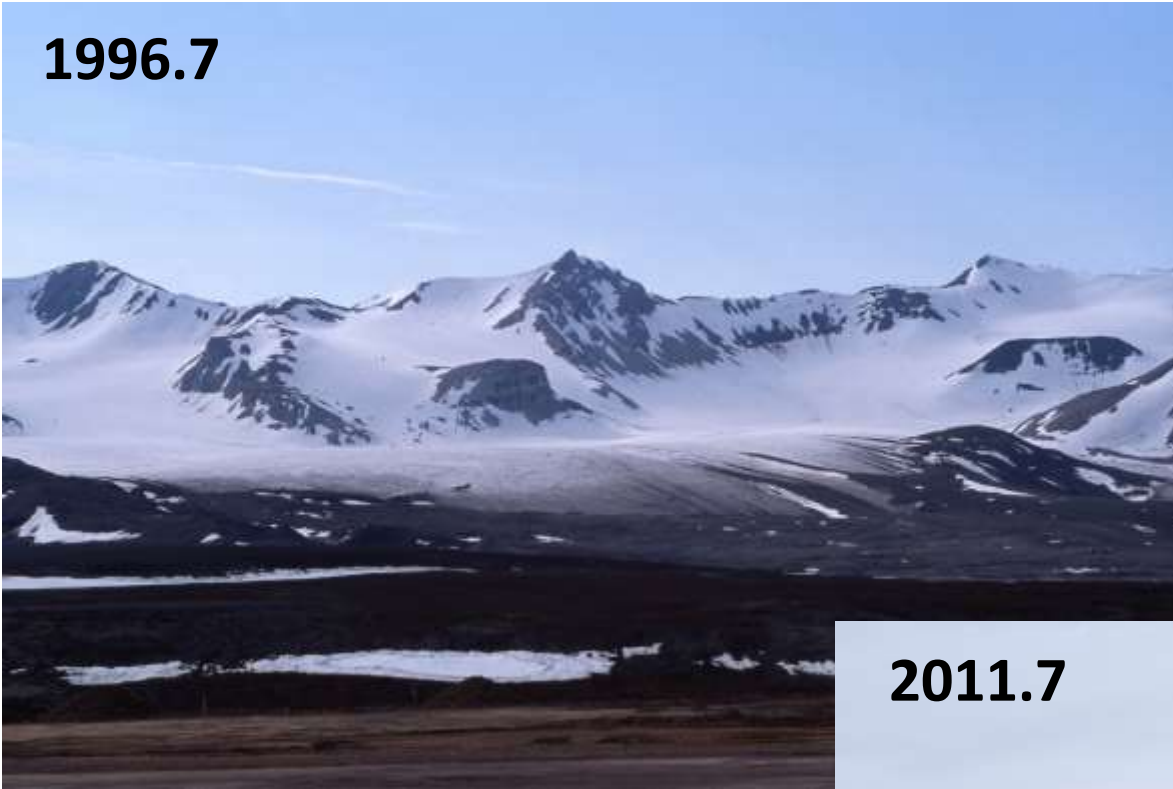
高潮で冠水する道路(マーシャル諸島マジュロ島)



抜本的な対策を講じなければ、平均気温4.8度、海面水位は最大で82釐上昇する恐れがある。

写真提供: SHIMADA KOUSEI(C)

1996.7



東ブレッガー(北極) 氷河の後退

2011.7



1989.11



ヒマラヤ(東ネパール)の 氷河の後退

2008.10



写真提供

写真提供：名古屋大学・雪氷圏変動研究室

■期待されること

②地域にもたらす経済効果

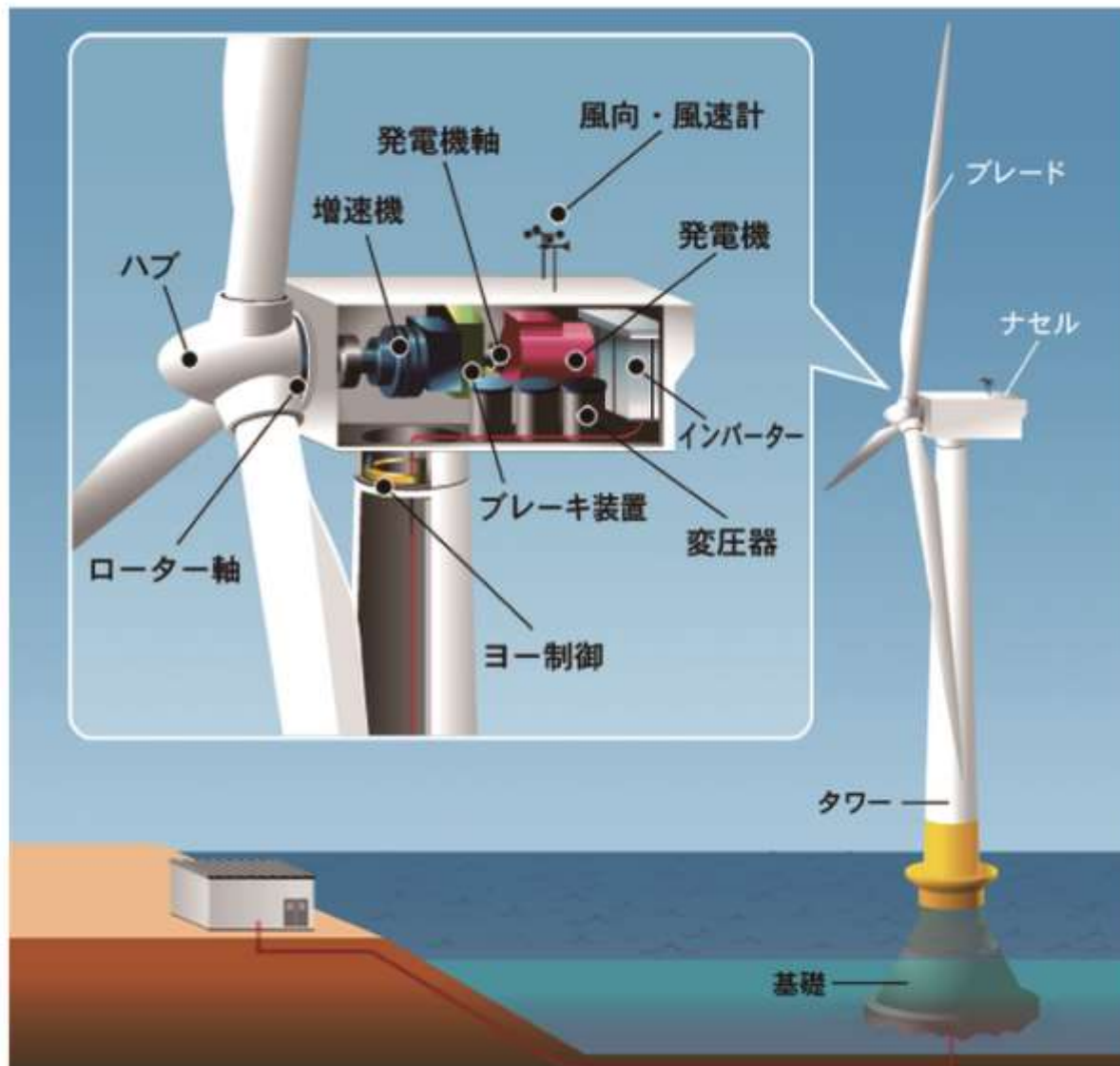




洋上風力発電事業に直接関わる仕事



風力発電機



部品点数は、1万点以上

出典:NEDO

■ 配慮すべき事項

① 地域住民の生活環境に対する配慮



■配慮すべき事項

②景観との調和



■ 配慮すべき事項

③ 自然環境の保全との調和



■配慮すべき事項

④漁業者及び岩船港利用者との調整



■配慮すべき事項

⑤地元との情報・意見共有



■配慮すべき事項

⑥地域の発展に資する取組みの検討



■これからの予定

①発電事業予定者の選定



■これからの予定

②環境アセスメント



■これからの予定

③工事の時期



■これからの予定

④市の役割



以上、岩船沖洋上風力発電についての報告にさせていただきます。